

令和3年度
郷土資料館
事業実績報告書

令和3年度事業実績報告書 事業分類番号一覧

大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号	
1 世代共通	1 学習分野	1 いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。	16 郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実	1	
			17 広報活動の充実(ホームページ・郷土資料館だより)	3	
			18 郷土学習の支援		
	2 芸術文化分野	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	1 ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。	17 郷土研究会等の育成	4
				09 郷土資料の収集・整理・保存・調査研究	
				10 歴史や自然に関する調査研究	5
				11 ふるさと講座	6
				12 加賀家文書歴史講座	8
				13 特別展・企画展	
				14 郷土学習出前講座	10
				15 出前移動展	11
				16 資料の有効的活用のための貸出	12
				17 郷土学習推進に関わる刊行物の作成	13
2 生涯各期	2 青少年期	2 魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。	17 郷土資料館サマー・ウインタースクール	14	
	4 高齢期	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	03 所蔵資料を活用した地域回想法事業	15	
3 施設・機関	4 郷土資料館	1 郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料館)の継承に努めます。	01 郷土資料館の建設準備	16	

1-1-1-16					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実				
事業内容・目的	町の歴史や自然、加賀家文書等関連資料を広く展示公開し、新着資料、展示解説のリニューアル、調査研究の成果などを常設展示に反映させ、町民の学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. 入館者の満足度（アンケートによる） 2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館） 3. 入館者数（豊原分館）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	85%	85%	85%
目標値2	900	900	950	950	1,000
目標値3	100	100	150	150	200
実績1	93%	86%	92%		
実績2	955	439	423		
実績3	84	29	15		
決算額	7335千円	3896千円	3831千円		
評価	B	B	B		

令和3年度（2021）実績

1. 入館者の満足度（郷土資料館・加賀家文書館）-92%（アンケート回答22人）
2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）-423人（個人-218人・団体-19団体205人）
3. 入館者数（豊原分館）-15人（個人-15人）
※郷土資料館・加賀家文書館の開館予定日264日中、コロナウィルス感染拡大防止のため臨時休館が42日間、町民限定となった日数が55日間である。
※豊原分館の開館予定日31日中、コロナウィルス感染拡大防止のため臨時休館が6日間、町民限定となった日数が6日間である。

団体入館状況（郷土資料館・加賀家文書館）

月 日	団 体 名	人 数	対 応 内 容
4月13日	教育委員会事務局	3	
4月21日	日本遺産ツアー加賀家文書館来館（株）ワールド航空サービス	10	展示解説
6月22日	別海中央中学校1年A組	38	展示解説・講話
6月23日	別海中央中学校1年B組	37	展示解説・講話
6月24日	中標津町郷土館	2	
6月26日	主催事業「特別展関連講座」受講者	8	
6月29日	国立アイヌ民族博物館	3	
6月30日	北海道博物館	2	
8月10日	ふれあいの翼一行来館	17	展示解説
8月6日	主催事業「サマースクール」受講者	11	
9月12日	主催事業「日本遺産セミナー」受講者	4	
10月6日	史跡奥行臼駅通整備委員会委員他	3	
12月20日	西春別小学校3,4年生来館（昔体験）	7	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
1月14日	主催事業「ウィンタースクール」受講者	2	
3月3日	中西別小学校3年生	4	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
3月6日	主催事業「加賀家文書歴史講座」受講者	7	
3月8日	上春別小学校3,4年生	17	展示解説・講話・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）・加賀家文書等
3月15日	野付小学校3年生	13	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
3月23日	上西春別小学校3年生来館	17	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）

入館者の感想-アンケートから-

●郷土資料館について

・エリアごとに違った物が置いてあり、見ていて楽しかったです。ゴールデンカムイのファンですが、アイヌ文化について学ぶことができ、とても満足です。ありがとうございました。

・予想以上に動物の展示が迫力があり、見ていてハラハラした。1つ1つの動物の生態やコラムなどをもっと知りたい。(愛知県・20代男性)

・昔の物が色々あって、くまやどうぶつがあって楽しかったです。(別海町10代男性)

●加賀家文書館について

・別海の地に偉大な人物が居たものと感心した。(東京都・60代男性)

・見やすく、綺麗で、資料(閲覧用)が素晴らしかった。(60代男性)



町内小学校来館の様子

1-1-1-17					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）				
事業内容・目的	町の歴史や自然及び加賀家文書に関することをホームページなどを通じ、情報の提供を行い町民の学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く） 2. 発行回数（広報べっかい版、館配布・ホームページ配信版）				
備考					

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	12	12	12	12	12
目標値2	24	24	24	24	24
実績1	25	17	18		
実績2	24	24	24		
決算額	-	-	-		
評価	A	A	A		

令和3年度（2021）実績

1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く）-18回 事業のお知らせや実施報告、別海町の自然などを主に掲載。
2. 発行回数-24回 「広報べっかい版」では、事業のお知らせを主とし、「館配布・ホームページ配信版」では、町の歴史や自然に関するコラムを掲載。

1-1-1-18					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	郷土学習の支援				
事業内容・目的	町内外及び学校関係、各種団体の歴史や自然に関する調査・研究の支援を行い、情報の相互提供などを行い学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. 件数				
備考					

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	20	20	20	20	20
実績1	39	35	23		
決算額	-	-	-		
評価	A	A	A		

令和3年度（2021）実績

1. 歴史関係-18件、自然関係-5件（町内-5件、管内-4件、管外-8件、道外-6件） ※来館、電話での回答や関係資料の提供を行うなど対応。
--

1-2-1-17					
分類	1-2-1 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。				
事業名	郷土研究会等の育成				
事業内容・目的	町内にある郷土研究会等への指導・協力を行い、郷土研究の充実・発展を目指します。				
評価指標	1. 指導・協力回数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	24	24	24	24	24
実績1	32	24	26		
決算額	-	-	-		
評価	A	A	A		

令和3年度(2021)実績

1. 指導・協力回数-26回
 別海町郷土研究会
 ①「風蓮湖周辺動植物調査」(10回)(郷土資料館と協同調査)
 ②古写真・文献デジタル化作業(16回)

1-2-3-09					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土資料の収集・整理・保存・調査研究				
事業内容・目的	所蔵資料のうち、未整理や未分類、調査研究が不十分なものに対して、資料基本台帳のデジタルデータベース化と同時進行で整理などを実施するとともに、次世代に継承しなければならない郷土資料を収集します。				
評価指標	1. 資料基本台帳登録資料数				
備考	1. 資料基本台帳登録資料数 ※令和4年3月31日現在総資料数 19,446点(平成17~令和2年度実績3,542点)				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	200	200	200	200	200
実績1	173	222	136		
決算額	52千円	71千円	46千円		
評価	B	B	B		

令和3年度(2021)実績

1. 資料基本台帳登録資料数-136点(寄贈・作成資料分-計測・注記・写真撮影)
 2. 資料の寄贈・収集・作成
 ①寄贈資料数-126点(考古78点、自然5点、生活2-33点、芸術4点、文書資料-6点)
 ②作成資料数-別海町の農業・漁業パネル-6点
 別海町歴史年表パネル-6点、西別献上鮭製造ジオラマ-1点



ジオラマ・ニシベツ献上鮭の製造



パネル・別海町の農業



パネル・別海町の漁業



パネル・別海町歴史年表

1-2-3-10					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	歴史や自然に関する調査研究				
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。				
評価指標	1. 調査件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	2	2	2	2	2
実績1	4	3	4		
決算額	-	127千円	17千円		
評価	B	B	B		

令和3年度（2021）実績

1. 調査件数-4件
- ①歴史-「加賀家文書等資料」の詳細調査及び解読作業
 - ②歴史-又十藤野家について（令和2年度から継続調査）
 - ③歴史-別海町の水産業（ミニ特別展実施）
 - ④自然-風蓮湖周辺の動植物調査（町郷土研究会協同調査）

1-2-3-11					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	ふるさと講座				
事業内容・目的	町の歴史や自然に関する講座を開設し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	89%	91%	94%		
決算額	86千円	96千円	71千円		
評価	A	A	A		

令和3年度（2021）実績

1. 受講者の満足度-94%（アンケート回答46人）
自然系・歴史系共に満足度の高い講座となり、大変好評だった。

自然系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	6月26日	郷土資料館	「植物標本に見る～野付半島の植物たち～」 講師：北方環境研究所 研究員 深津 恵	5人
②	8月1日	野付半島	「シギ・チドリ観察会」 講師：野付半島ネイチャーセンター センター長 藤井薫氏	4人
③	11月28日	野付半島	「小さな冬の使者ユキホオジロを訪ねる観察会」 講師：野付半島ネイチャーセンター センター長 藤井薫氏	12人
④	2月20日	風連湖等	「冬の野鳥観察会」 講師：野付半島ネイチャーセンター センター長 藤井薫氏	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止
歴史系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	7月11日	奥行	「明治から昭和の交通の要所 奥行地区文化財を巡る」～史跡旧奥行白駅通所保存修理工事完成見学会～ 講師：教育委員会生涯学習課文化財担当 主幹 戸田博史	参加希望者無しのため中止
②	7月11日	郷土資料館	「開拓使別海缶詰所～根室地方の繁栄の礎として」 講師：教育委員会生涯学習課文化財担当 主幹 戸田博史	4人
③	11月7日	野付半島	「江戸時代のノツケ～野付通行屋・番屋跡遺跡～」 講師：郷土資料館 主幹 石渡一人	12人
④	10月31日	野付半島	「擦文時代～アイヌ時代遺跡巡り～オンネニクルの森を歩こう～」 講師：郷土資料館 主幹 石渡一人	6人

自然系①は、令和3年度特別展開連講座として実施。

自然系②③、歴史系③④は、野付半島ネイチャーセンターとの連携事業

歴史系②は、根室管内日本遺産推進協議会鮭の聖地メナシネットワーク「根室海峡沿岸文化財セミナー」との連携事業（WEB配信）



自然系①



自然系②
郷土資料館6



自然系③

参加者の感想（アンケートから）

自然系①

- ・野付半島の植物たちについて、深く知ることがありませんでした。とても興味深く聞かせていただきました。地道なキメ細かい研究に感服しました。調べてくれてありがとうございました。
- ・わかりやすい話だった。花が咲く時、タネをつけるとき、その時をとらえるため、毎日観察に通われたとうかがい、まさに脱帽。展示は、また後日ゆっくり見に伺います。ありがとうございました。
- ・日頃何気なく見ている植物にも歴史が有ったり、植生場所によって異なる植物の成育に興味があり野付半島の良さを改めて感じました。ありがとうございました。

自然系②

- ・多くの種類を確認出来て良かった。また、ゆっくりと見たいと思います。
- ・少人数でしたので、藤井センター長さんの話を沢山聞けました。楽しかったです。
- ・天気が心配でしたが、楽しむことが出来ました。また、参加したいです。
- ・この人数位での観察会をまた何回かやって下さい。指導の方からの話も聞きやすいし、スコープものぞきやすいし。

自然系③

- ・念願だった先端迄行く事が出来て良かったです。自分でユキホオジロを探す事はできませんでしたが、一目実物を見る事ができとても楽しかったです。
- ・実際にその鳥を見ることはやはり写真で見るとは一味違いますね。そこで生きて活動していること自体が実感として伝わりより身近に感じること&知ることができてよかったです。
- ・ユキホオジロ！別海町の新マスコットキャラクターになるのではないのでしょうか。個人では行くことのできない場所でユキホオジロやクジラの骨を見る事ができ感動でした。
- ・今年もユキホオジロに会えました。オオワシも自分にとって今シーズン初認でした。ありがとうございました。

歴史系②

- ・あまり知らないことが多かったので、驚きに連続。おもしろかった。もう少し勉強してみたい。
- ・別海と鮭の歴史について学びました。とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

歴史系③

- ・野付通行屋跡・番屋跡について、非常に勉強になりました。この歴史を後世に残してほしいと思いました。
- ・配布資料に図面もあり、位置関係も把握しながらの説明でとても素晴らしかったです。
- ・前回、前々回が天候やコロナで中止となり、今回の参加を楽しみにしていました。色々勉強になり、ありがとうございました。
- ・お話がわかりやすく、バラエティ豊富でとても勉強になりました。親近感深まる少人数ツアーだったので、それもまたアットホームな感じで良かったです。ありがとうございました。
- ・「キラク」の場に立つことができ感激です。詳しい説明をいただきながらキラクがあった場で呼吸が出来ました。浸食が心配です。貴重な文化遺産を大切にしたいです。ありがとうございました。
- ・参加者のペースに合わせていただき、いろいろと吸収することができた。札幌からの参加であったが、見学会の日程等の情報はとりづらいつと感じた。
- ・友人に誘われて来て、折角だしという気持ちで来たが、非常に満足度の高いツアーでした。野付半島の地理的な成り立ちを含め歴史を知ることができ有意義なツアーでした。

歴史系④

- ・チャシ跡さがしながら昔の人達がどんな生活をしてたか色々解りました。
- ・暖かく天気にも恵まれ良かったです。野付のイベントは毎日発見+勉強です。次回も楽しみにしています。
- ・別海町に住み37年も経ったのに知らないこと、知っていても見たことのない場所・ものがあります。専門の方の話を聴きながら今後も「別海」を知りたいと思いました。今回はドキドキワクワクでした。ありがとうございました。



歴史系②



歴史系③



歴史系④

1-2-3-12					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	加賀家文書歴史講座				
事業内容・目的	加賀家文書を中心とした近世江戸時代に関する講座を開設し、加賀家文書に対する理解を深めます。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	83%	94%	100%		
決算額	-	-	-		
評価	B	A	A		

令和3年度（2021）実績

1. 受講者の満足度-100%（アンケート回答6人） 「加賀家文書について」の入門的なお話、加賀家文書館の展示解説を行いました。 講座の様子は、根室管内日本遺産推進協議会鮭の聖地メナシネットワークの「根室海峡沿岸文化財セミナー」としてWEB配信を行いました。			
期 日	場 所	内 容	受講者数
3月6日	郷土資料館	「加賀家文書について」講話・展示解説 郷土資料館 主幹 石渡 一人	6人

1-2-3-13					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	特別展・企画展				
事業内容・目的	調査研究の成果の公表及び所蔵されている資料を広く展示公開し、町の歴史や自然をより深く理解するための特別展・企画展を実施します。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	88%	81%	90%		
決算額	128千円	170千円	82千円		
評価	B	B	B		

令和3年度（2021）実績

1. 見学者の満足度-90%（アンケート回答5人）				
	期 日	場 所	内 容	入館者数
①	6月21日 ～8月31日	郷土資料館	特別展「植物標本に見る～野付半島の植物たち～」	225
②	9月1日 ～16日	図書館	巡回展「日本遺産～鮭の聖地の物語」	集計無
③	10月1日 ～30日	郷土資料館	ミニ特別展「別海町の水産業」（以後常設展示）	36

見学者の感想（アンケートから）

①特別展「植物標本に見る～野付半島の植物たち～」

- ・生の標本を見ることが出来た。（標津町20代男性）
- ・カラーパネルの植物写真は、生きてる時の色やようすがわかっていいですね。（町内60代女性）
- ・とてもよかったです。333種類もの植物を採取するのはとてもたいへんだったと思います。苦労と努力から生まれたこの特別展は、とても見ごたえがありました。ぱっと見あまり変わらないようでもよく見たら少しずつ違いがあって植物の世界は広いなと思いました。今後も機会あったら野付半島を訪れてみたいと思いました。植物の写真や標本もとても見やすく全体を通してわかりやすく感じました。（釧路市10代女性）



特別展「植物標本に見る～野付半島の植物たち～」



巡回展「日本遺産 鮭の聖地の物語」

1-2-3-14					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習出前講座				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	80%	100%	100%		
決算額	12千円	10千円			
評価	B	A	A		

令和3年度（2021）実績

1. 受講者の満足度-100%（アンケート回答2団体）

月 日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
7月12日	上春別小学校6年生 「大昔のべっかい・勾玉づくり」（講話・体験学習）	10	石渡主幹
8月26日	東公民館 「勾玉づくり」	26	石渡主幹
9月2日	中西別小学校 ものづくりクラブ 「大昔のべっかい-勾玉づくり」	12	石渡主幹
9月21日	別海中央中学校2・3年生 「別海町農業の歴史」	100	石渡主幹
9月30日	中西別小学校6年生 理科「別海町の地層・火山灰について（授業支援）」	10	石渡主幹
10月7日	令和3年度道東3管内博物館施設等連絡協議会交流推進会議 「別海町郷土資料館の調査研究の意義と課題」事例発表	19	石渡主幹
10月13日	日本遺産相互研修 「野付通行屋跡遺跡について」	15	石渡主幹
10月14日	中西別小学校6年生 理科「別海町の地層・火山灰について（授業支援）」	10	石渡主幹
11月11日	別教研社会科サークル研修会（WEB研修） 「別海町郷土資料館の利用と副読本の活用について」	10	石渡主幹

出前講座の感想（アンケートから）

- ・7/12 上春別小学校6年生
不器用な子どもたちが多い中、親切に勾玉づくりを手伝っていただき完成した勾玉に子どもたちも大変よろこんでいました。貴重な体験でした。次年度もぜひお願いいたします。
- ・9/2 中西別小学校 ものづくりクラブ
わりやすい展示物や映像を通して、別海町の歴史や遺跡について理解を深めるとともに、勾玉作りの体験を通して、地域への興味関心をもつことができました。



中西別小学校6年生「別海町の地層・火山灰について」

1-2-3-15					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	出前移動展				
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	86%	88%	84%		
決算額	-	-	-		
評価	B	A	B		

令和3年度（2021）実績

1. 見学者の満足度-84%（アンケート回答28人）		
期 間	事業名と内容	備 考
7月2日 ～29日	東公民館 「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」	パネル25枚
7月6日 ～29日	野付半島ネイチャーセンター 「近世の別海を探るⅢ～野付半島編」	パネル17枚
10月3日 ～29日	野付半島ネイチャーセンター 「植物標本に見る～野付半島の植物たち～」	パネル8枚 標本146点

見学者の感想（アンケートから）

- 7/6～29 野付半島ネイチャーセンター
 - ・中学生と来ています。どどわら、ならわらの語源を知ってよかったです。（札幌市40代女性）
- 10/3～29 野付半島ネイチャーセンター
 - ・自然をこの土地を大切に思ってみえる気持ちが伝わりました。（岐阜県50代女性）
 - ・野付半島をくまなく踏査し、貴重な植物標本を作製し残していただいたことに心から尊敬いたします。説明も分かり易く勉強になりました。（町内10代男性）



東公民館



野付半島ネイチャーセンター

1-2-3-16					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	資料の有効的活用のための貸出				
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。				
評価指標	1. 利用者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	90%	100%	100%		
決算額	-	-	-		
評価	A	A	A		

令和3年度（2021）実績

1. 利用者の満足度-100%（アンケート回答1件） 関係機関や各団体の要望に応じての貸出であるため、件数については流動的であり ます。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急 務である。		
期 間	内 容	貸出資料
4月24日 ～5月16日	松前町教育委員会 「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」展実 施のため	藤野家パネル-25点
6月1日 ～10月8日	北海道博物館 第7回特別展「あっちこっち湿地～自然と歴史をめぐる 旅～	野付湾の打瀬舟漁（模型）-1 点
6月9日 ～7月2日	鮭の聖地メナシネットワーク 鮭の聖地展示会	加賀家文書等資料（「鱒形図 老拾品鮭形図四品」複製）-1 点 藤野伍詰所製造ラベル-2点 藤野伍詰所製造木箱-1点
7月19日	株式会社少年写真新聞社 児童書「人と動物の日本史図鑑」掲載写真	マンモスゾウ臼歯化石（エキ タラウス沖標本）写真データ
7月31日 ～8月29日	厚岸町海事記念館 「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」展実 施のため	藤野家パネル-25点
8月13日	北海道博物館 「第5回特別展アイヌ語地名と北海道 連続講座・特別 フォーラム 講演記録」掲載写真	加賀家文書等資料（「五倫名 義解」「ノサップ～シコタン 島図」「自画自賛」）写真 データ-3点
8月31日 ～12月24日	標津町教育委員会 「令和4年度公開予定標津サーモン科学館内日本遺産 「鮭の聖地の物語」展示室展示資料作成のため	加賀家文書等資料（「鱒形図 老拾品鮭形図四品」他4点
9月22日 ～30日	別海町役場産業振興部水産みどり課 「小学校出前授業使用のため」	モッコ・うき玉・マレク
10月15日 ～12月14日	滋賀県豊郷町教育委員会 「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」展実 施のため	藤野家パネル-25点
1月11日 ～5月10日	網走市立郷土博物館 特別企画展「網走のはじまり展」展示のため	藤野家パネル-25点 藤野伍詰製造所関係資料-3点

1-2-3-17					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習推進に関わる刊行物の作成				
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 作成件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	3	5	3		
決算額	18千円	10千円	9千円		
評価	C	B	B		

令和3年度(2021)実績

- ①郷土資料館展示解説シート「マンモスゾウ臼歯化石」「津波堆積物」「別海町の農業」の刊行・配布。
- ②「別海町郷土資料館だよりNo.260～272」の刊行。当館、役場、西・東公民館、ホームページで掲載。(広報活動の充実と重複)
- ③今後の刊行物作成として「絵本加賀伝蔵物語」の本文・作画、「所蔵資料目録」の準備作業を実施。



郷土資料館展示解説シート

2-2-2-17					
分類	2-2-2 生涯各期-青少年期	担当課	郷土資料館		
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。				
事業名	郷土資料館サマー・ウインタースクール				
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探求させる心を育てます。（夏休み期間・冬休み期間）				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	97%	97%	99%		
決算額	10千円	13千円	9千円		
評価	A	B	A		

令和3年度（2021）実績

1. 受講者の満足度-99%（アンケート回答13人）
もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど好評だった。

サマースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
8月6日	郷土資料館	「大昔のべっかい 勾玉づくり」 講師 別海町郷土資料館 主幹 石渡 一人	11人

ウインタースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月14日	郷土資料館	「昔の遊び・凧づくり」 講師 郷土資料館職員	2人

○サマースクール

- ・初めてまが玉づくりをしたけど、とても楽しかったです。家に帰っても、もっとみがい夏休みの作品にしたいと思います。
- ・やすりで石をけずるのが、とっても楽しかったです。石はもっときれいにみぎたいです。理想の形になってとってもうれしかったです。
- ・できあがった勾玉が思っていたよりきれいで、つるつるしていたことがおどろいた。できるまでにいろいろなことをするのがわかった。

○ウインタースクール

- ・むずかしかったけど、絵の作業があるから絵をがんばりたいです。



サマースクール



ウインタースクール
郷土資料館14

2-4-3-03					
分類	2-4-3 生涯各期-高齢期	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	所蔵資料を活用した地域回想法事業				
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。				
評価指標	1. 進捗状況				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	-	-	-		
決算額	-	-	-		
評価	C	B	B		

令和3年度（2021）実績

・令和2年度から、町内12の高齢者福祉施設に「別海町郷土資料館地域回想法事業貸出メニュー」を具体的に明記し周知し、令和3年度は、新たなメニューを加えた。今後も活用を促すとともに新たなメニューの開発が必要となる。

期 間	内 容	利用者
4月7日	「昔なしかしい映像」(DVD)鑑賞	特別養護老人ホーム青翠園
4月16日 ～26日	「昔なしかしい映像」(DVD)鑑賞	ディサービスセンターひだまり
4月30日 ～5月14日	昔なつかしい写真21インチフォトフレーム	西春別ディサービスすずらん
6月23日 ～30日	「昔なしかしい映像」(DVD)鑑賞	ディサービスセンターひだまり

3-4-1-01						
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館		担当課	郷土資料館		
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料)を継承していきます。					
事業名	郷土資料館の整備					
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館・豊原分館の整備方針を策定し、計画的な整備を進めます。附属施設加賀家文書館については、計画的な改修を行います。					
備考	※下記実施計画は、予定とする。					
実施計画	R1	調査・準備 (教育委員会内部検討会議)				
	R2	調査・準備 (役場庁舎内検討会議)				
	R3	調査・準備 (役場庁舎内検討会議)				
	R4	調査・準備 (役場庁舎内検討会議)				
	R5	基本構想策定				
	R6	基本計画策定				
	R7	実施計画策定				
	R8	工事・展示制作				
	R9	工事・展示制作				
	R10	開館				
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
決算額	108千円	-	-			
評価	○	○	○			
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
決算額						
評価						
<p>1. 郷土資料館・豊原分館 令和元年度に作成した『別海町博物館基本構想【提言書】～別海町教育委員会郷土資料館整備事業内部検討会議整備方針として～』(令和2年3月)をもとに、役場庁舎内検討会議を1回開催した。財源確保や候補場所についての検討を行ったが、問題も多く、その解決に時間を要すことから令和4年度も継続して役場庁舎内検討会議を開催する。</p> <p>2. 附属施設加賀家文書館 令和元年度に『別海町社会教育施設長寿命化計画』を策定。今後は、計画的に改修を行う。</p>						



郷土資料館



豊原分館

その他の事業

事業名	内容・実施時期など
町機関対応関係	<ul style="list-style-type: none"> ●別海町教育委員会生涯学習課文化財担当所管 ①埋蔵文化財包蔵地確認調査（カッコはヶ所） 5月20日－尾岱沼地区(1) 7月1日－上春別地区(1) 9月28日－美原地区(5) 西春別地区(1)
道機関対応関係	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道教育委員会文化財・博物館課 ①町内埋蔵文化財包蔵地「北海道東部に残る竪穴群」調査 4月27日－5遺跡踏査 ②埋蔵文化財包蔵地確認調査 3月11日－上春別地区(1)
研究機関等対応関係	<ul style="list-style-type: none"> ●中標津町郷土館村田・中園学芸員「ジオラマ作成指導」（6月24日・7月11日・10月10日・24日） ●NPO法人オホーツク自然・文化ネットワーク松田功氏「所蔵植物標本について」（8月11日） ●斜里町知床博物館阿部公男氏「古文書資料の保存展示」（12月10日）
研修会関係	<ul style="list-style-type: none"> ●古代集落遺跡群保存活用協議会設立会合（zoom会議）（3月30日）
報道機関対応関係	<ul style="list-style-type: none"> ●特別展・資料展示・講座開催等に伴う取材7回 北海道新聞(5)、釧路新聞(1)、NHK(1)